

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HULFT7 for Mainframe Ver.7.3.0 にて発生する問題について

先日 2013 年 4 月 3 日にリリースいたしました「HULFT7 for Mainframe」のコード変換処理にて不具合が発見されましたので、下記にご報告を申し上げます。内容をご確認いただき対応をお願いいたします。

－ 記 －

1. 対象製品・バージョン

HULFT7 for MSP Ver.7.3.0
HULFT7 for XSP Ver.7.3.0
HULFT7 for zOS Ver.7.3.0

2. 発生現象

①配信機能

1 バイトコードが 256 バイト以上連続したデータを含むレコードを配信すると、意図しないデータに変換される場合があります。

②集信機能

1 バイトコードが 256 バイト以上連続したデータを含むレコードを集信すると、意図しないデータに変換される場合があります。

③ユーティリティ

1 バイトコードが 256 バイト以上連続したレコードを含む結合ファイルを結合ファイル分解プログラム(XRBREAK)で分解すると、意図しないデータに変換される場合があります。

詳細については下記を参照してください。

3. 発生条件

①配信機能

以下の条件をすべて満たして配信すると発生します。

- ・ 集信側の製品（英語版を含む）
 - HULFT for K Ver.1
 - HULFT for K Ver.2
 - HULFT for Mainframe Ver.5
 - HULFT for Mainframe Ver.6
 - HULFT-SAN for Mainframe(H) Ver.5
 - HULFT-SAN for Mainframe(F) Ver.5
 - HULFT-SAN for Mainframe Ver.6
 - HULFT for AS/400 Ver.5
 - HULFT for OS400 Ver.6
 - HULFT7 for i50S
 - HULFT7 for zOS
 - HULFT7 for MSP
 - HULFT7 for XSP
- ・ 詳細ホスト情報に集信側ホストを登録した際、「漢字コード種(KCODETYPE)」に以下のいずれかを設定
 - “I (IBM)”、“J (JEF)”、“K (KEIS)”、“N (NEC)”
- ・ 配信管理情報の「コード変換(CODE-CONV)」に“S(配信側)”を設定
- ・ 【レコード条件】のいずれかに該当するレコード内に、【データ条件】のいずれかに該当するデータが存在
 - 【レコード条件】

表 1

配信管理情報の 「転送タイプ(TRANSTYPE)」	レコード
T(テキスト)	任意のレコード
F(フォーマット)	フォーマット情報の「項目タイプ」が“M(漢字キャラクター混在)”に設定されたデータ項目
M(マルチフォーマット)	

【データ条件】

- ・ 1 バイトコードが 257 バイト以上連続したデータ
- ・ 1 バイトコードが 256 バイト連続した後にシフトコード(※1)が続くデータ

※1:対象製品が zOS の場合は“0x0E”、MSP または XSP の場合は“0x28”または“0x38”

ただし、以下の条件をすべて満たした場合は発生しません。

- ・ 詳細ホスト情報に集信側ホストを登録した際、「漢字コード種(KCODETYPE)」に以下を設定
 - 対象製品が zOS の場合は“I (IBM)”、MSP または XSP の場合は“J (JEF)”
- ・ ワークファイル転送
- ・ 配信管理情報の「コード変換(CODE-CONV)」に“S(配信側)”を設定
- ・ 配信管理情報の「転送タイプ(TRANSTYPE)」に“T(テキスト)”を設定

②集信機能

以下の条件をすべて満たして集信すると発生します。

- ・ 配信側の製品（英語版を含む）
①配信機能 の発生条件「集信側の製品（英語版を含む）」と同じですが、Mainframe 製品のうち、Type ACOS、Type VOS、は対象外です。
- ・ 詳細ホスト情報に配信側ホストを登録した際、「漢字コード種(KCODETYPE)」に以下のいずれかを設定
"I(IBM)"、"J(JEF)"
- ・ 配信側の HULFT で、配信管理情報の「コード変換」に"集信側"を設定
- ・ 【レコード条件】のいずれかに該当するレコード内に、【データ条件】のいずれかに該当するデータが存在
【レコード条件】
①配信機能 の表 1 を参照してください。
【データ条件】
 - ・ 1 バイトコードが 257 バイト以上連続したデータ
 - ・ 1 バイトコードが 256 バイト連続した後にシフトコード(※2)が続くデータ※2：配信側ホストの「漢字コード種(KCODETYPE)」が"I(IBM)"の場合は"0x0E"、
"J(JEF)"の場合は"0x28"または"0x38"

③ユーティリティ

以下の条件をすべて満たして結合されたファイルを結合ファイル分解プログラム(XRBREAK)で分解すると発生します。

- ・ 結合側の漢字コード種が以下
対象製品が zOS の場合は"JEF"、MSP または XSP の場合は"IBM"
- ・ 【レコード条件】のいずれかに該当するレコード内に、【データ条件】のいずれかに該当するデータが存在
【レコード条件】

入力ファイルの「転送タイプ(ファイルタイプ)」	レコード
テキスト	任意のレコード
フォーマット	フォーマット情報の「項目タイプ」が"漢字キャラクター混在"に設定されたデータ項目
マルチフォーマット	

【データ条件】
 - ・ 1 バイトコードが 257 バイト以上連続したデータ
 - ・ 1 バイトコードが 256 バイト連続した後にシフトコード(※3)が続くデータ※3：対象製品が zOS の場合は"0x28"または"0x38"、MSP または XSP の場合は"0x0E"

4. 回避方法

対象製品を、Ver. 7. 3. 0A へマイナーリビジョンアップしてください。

5. 障害修正版の提供について

本障害の正式対応版については、8月19日(月)リリースを予定しております。

なお、HULFT.COMからの本件対象製品のダウンロードは上記正式対応版リリースまで停止させていただきます。ダウンロード再開の際には別途HULFT.COMの「重要なお知らせ」にてご連絡いたします。

<2013/8/19 追記>

本障害の正式対応については、マイナーリビジョンアップ版 (Ver. 7.3.0A) として8月19日(月)よりHULFT.COMからダウンロード提供、及びメディア出荷を再開しました。

以上

【改訂履歴】

2013/8/19

・「2. 発生現象」

ユーティリティに関する発生現象の追加、および機能別(配信機能、集信機能、ユーティリティ)の記載に変更しました。

・「3. 発生条件」

ユーティリティに関する発生条件の追加、および機能別(配信機能、集信機能、ユーティリティ)の記載に変更しました。

・「4. 回避方法」

Ver.7.3.0Aのリリースに伴い、記載を変更しました。

・「5. 障害修正版の提供について」

障害の正式対応版(V7.3.0A)のリリース開始および製品ダウンロードを再開した旨、追記しました。